

さあ、キミもいっしょに大垣東高で夢を実現させよう!!

卒業生の声(合格体験記より)

「人生で一番充実した七ヶ月間」

私は高校生活の3年間、野球部に所属していました。その間は、部活動の忙しさにかまけて学業の方を少し疎かにしてしまっていました。単語テストも当日の朝勉強したり、期末テストもテスト期間に慌てて範囲を終わらせてたりして、ほぼ暗記のような形で、一切実力がつかない様な勉強をしてしまいました。そんなだらけた学習をしていたせいで、部活動が終わってからすぐに切り替えて自分で学習する時間が増える訳がなく、予備校に通い強制的に学習の場に身を置くことで何とか勉強する頭と体を作ることができました。こんなやり方では周りに後れをとってしまうし、何より勉強がつらいものになってしまいます。後輩の皆さんにはこんなふうには受検期間を戦って欲しくないの、部活動があっても勉強は欠かさずにやることを強く勧めます。極めて少数だとは思いますが、週に学校以外での勉強を全くしない日がある、という人もいます。部活動で疲れてとか、遊び時間が欲しいとか、いろいろあると思いますが、一日一時間だけでも勉強の時間に充ててみて欲しいと思います。集中した一時間を毎日続けることができれば、部活動が終わった後スムーズに受験期間に入ることができると思います。

ここからは名古屋大学の二次試験に関わる話になります。名古屋大学の場合、法学部以外は基本的に二次試験の配点が大きく、二次がとても重要になってきます。私は二次力を測るための名大入試オープンという模試では一番低い評価をとってしまいました。このままでは絶対に合格できない、と11月末に思った私は英語と理科を重点的に学習することに決めました。数学はどの年も難しく、医学科の平均点さえ半分くらいなので点の取れる問題だけ確実に取るくらい気持ちでした。化学は特に有機分野の出来が重要になってくるので主に有機分野の過去問や他大学の問題を解きました。また、理科は二科目合わせて150分と時間が無いので、分からないと思った問題はすぐとばして他の問題に移る勇気も必要だと思います。英語はとにかくいろいろな長文問題を解きました。また、英作文の問題も出題されるので、先生方に何度も添削をお願いしたり、決まり文句の様なものを覚えたりするのも効果的だと思います。

来年からは一次試験も替わり、特に新三年生の皆さんは新テスト導入1年目なので分からないことが多く不安だとは思いますが、そう思っているのは東大をめざしている人も含めてどんな人でも同じなのだとことを忘れず、落ち着いて勉強した方が良いと思います。是非納得できる進路を目指してください。

〈令和元年度卒 名古屋大学 医学部 保健学科 看護学専攻 小川 雅弥 (垂井北中出身)〉



「推薦入試と実技試験について」

私は、岐阜大学の学校教育教員養成課程の音楽教育に、センター試験を課す推薦入試IIで合格することができました。推薦入試を受け、また二次試験には実技試験を使うということで、他の受験生とは少し違った準備が必要となる受験でした。こうした受験に関係する人は数少ないと思いますが、そういう人達に私の合格体験記が参考になればと思って書きたいと思います。

まず、推薦入試についてですが、今回の私の入試では「岐阜県の教員としてどのように活躍できるか」という事が、事前で作る学修計画書でも面接でも重要視されていました。分からない事が多い中、先生方にもアドバイスをいただき、小学校時代のふるさと学習の体験など具体的な経験を思い出しながら準備を進めました。しかし、周りが受験勉強をしている中、こうした事に時間を取らないうえ、時間のロスではないか、不合格だった時に次に切り変えられるのか、という不安を感じた事もあります。ですが、そうした焦りが逆に私の背中を押し、身を締めくれたような気がします。

次に、実技試験についてです。まず、少しでも実技試験のある大学を気にしている人は、できるだけ早く、レッスンの先生や学校の先生に思いを伝えてください。3年生になると、勉強の方が忙しくなり、それでも実技練習をし続ける環境を作るには、周りの人の支えが必要になると思うからです。そして、気になる大学の実技試験の内容もできるだけ早く目を通すといいと思います。音楽科という演奏試験の他に聴音、新曲視唱、楽典など様々な試験の種類があり、それらの有無も大学によって様々です。実技試験の対応不足で志望する大学をあきらめる事がないように気を付けてください。それから、大学によっては夏休みなどに、フポイントレッスンという様なものを行っている大学もあり、そういうものには積極的に参加してみてください。特に3年生の時に試験曲を持って参加すれば、試験の時ほど緊張しないため、教授の方に自分の実力を知らせてもらえるいい機会になると思います。

ここまで、推薦入試と実技試験について書きましたが、合格する要はやはり学力です。推薦入試ならなおさらですし、正直、面接や実技試験では差がつきにくいと思います。学力の方では、当たり前かもしれませんが、授業を大切にしてみてください。授業をしっかり聞けば、苦手意識を持ちにくくなり、効率よく受験勉強に取り組む事ができると思います。実技練習で時間が奪われる分、授業で周りと差をつけるつもりで取り組んでみてください。

最後になりましたが、今まで支えてくださった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。それでは、東高生のみなさん、頑張ってください。

〈令和元年度卒 岐阜大学 学校教育教員養成課程 音楽教育講座 足利 萌 (赤坂中出身)〉



2020 学校案内



「あなたの夢」東高で叶えましょう

2020 OGAKI HIGASHI HIGH SCHOOL GUIDE



校章「三稜」は、本校西方の伊吹の峰をかたどり、本校の教育理念「真善美」を象徴しています。

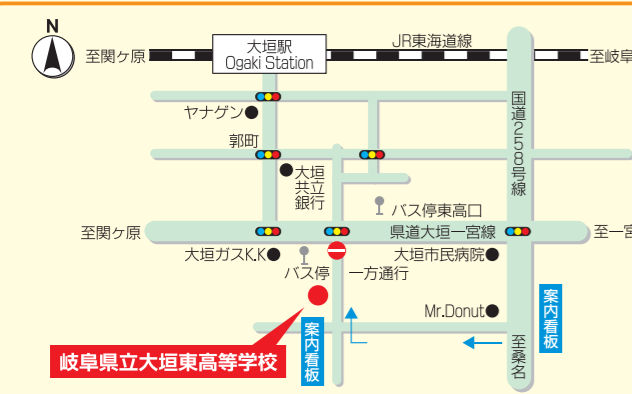
在校生からのメッセージ

皆さんは高校に入ったら何がしたいですか？勉強、部活動、もしくは恋愛など、その答えは人それぞれだと思います。しかし、入る前にしっかりと目標を持ち、イメージをすることが大切です。何のために高校に入り、何を学び、どんな人になりたいのかを考えてみてください。そうすれば必ず進むべき道が見えてくるはずです。

高校生はもう大人です。自分の思い描く未来をつくるために、高校で多くのことを学んでほしいです。いろいろなものに触れ、たくさん考えて固定観念や先入観を壊してください。それが大きな成長につながります。

高校生活は学ぶことが多い分、大変です。しかしそれ以上に楽しいと思います。今多くの不安や心配があると思いますが、明るい未来を想像し、今できることをしましょう。その努力はいつかきっと自分に返ってきます。

令和2年度前期生徒会長 小川 和美 (池田中出身)



岐阜県立大垣東高等学校

〒503-0857 岐阜県大垣市美和町1784番地  
TEL:(0584)81-2331 FAX:(0584)74-9697  
MAIL:c27363@gifu-net.ed.jp  
URL:https://school.gifu-net.ed.jp/ogkhigasi-hs/

ACCESS

- ・大垣駅から徒歩20分
- ・大垣駅2番または3番バス乗車「東高口」下車



全日制普通科・理数科

岐阜県立大垣東高等学校

# 納得のいく高校生活が

# ここに 있습니다



## 本校の教育目標

「社会のリーダーをめざすにふさわしい人間を育てる」を教育目標とし、次の3点を特に重視しています。

- (1) 学問を尊ぶ気風を培い、高い学力を身に付けさせる。
- (2) 文化を尊重し、部活動や学校行事等への主体的な取組を通して、豊かな人間性を身に付けさせる。
- (3) 生活規律を確立させる。

## 学習環境の充実に努めています

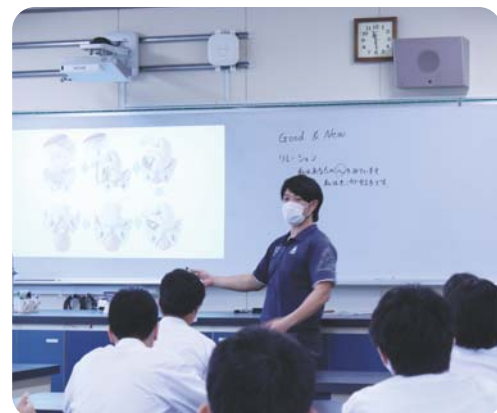
すべての教室にエアコンが設置されており、1年を通して快適な環境で学習に取り組むことができます。一昨年度から多目的教室が設置され、早朝・放課後には個別のブースで自習できます。また、夏季授業（7月後半の午前授業）や「チャレンジ講座」（ハイレベル補習）を実施し、多くの学習機会を設けています。生徒個々の進路志望、学習の到達状況に応じた指導をめざして、年間を通して「ミニ懇談」（担任との学習相談）を行っています。

## 部活動が盛んです

文武両道で頑張っています。日々学習と部活動を両立させつつ、自己の進路目標を達成しています。週3回7限授業がありますが、部活動においては限られた時間の中で、充実した活動を行い、成果を上げています。学習面でも自分の時間を上手に使う、希望の進路達成に向けて努力しています。



多目的教室



教室風景



学校生活



校訓



文化祭

## 理数科を設置しています

### 目標

- \* 自然科学の研究や新しい科学技術の開発に貢献する意欲にあふれた人材を育てます。
- \* 科学技術を社会に生かすことができる知識と豊かな人間性を併せもった人材を育てます。

### 特徴

- \* 数学・理科を、普通科理系より深く学習するカリキュラムを組んでいます。数学は少人数授業を行います。
- \* 2年生で課題研究を行います。自由なテーマで課題を設定し、半年間研究をします。外部の研究機関から指導を受けたり、1年以上継続して研究したりする班もあります。
- \* 幅広い分野の外部学術教育研究機関との連携講座を10回程度開催します。
- \* 学んだことを、地域貢献活動に活かしています。「美和塾」は、近隣の南小学校との連携講座。小学5年生にいろいろな楽しい実験を行いました。

### 主な連携講座（令和元年度）

テーマ	連携先	テーマ	連携先
火山の噴火	名古屋大学	絶滅危惧種ハリヨと環境保全	岐阜協立大学
地球科学・惑星	北海道大学	DNA鑑定	長浜バイオ大学
分野別研修講座	豊田工業大学	分野別研修講座	滋賀県立大学
ウニの発生	福井県立大学	核融合反応による発電	核融合科学研究所
ブラックホール	広島大学		



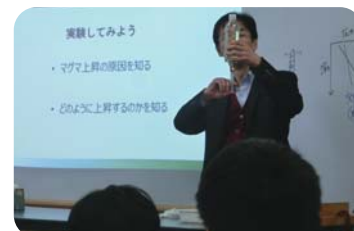
大垣ガスほのりんプラザ大ホールで、研究指導者を招いて課題研究報告会を開催しました。



ハリヨの調査研究を継続して行っています。



小学生に理数の実習をしました。



マグマの発生、上昇について学びました。



世界で初めてブラックホールの撮影に成功したグループの研究者による講義です。



1年生は臨海研修に行きます。ウニの発生実験や磯観察をしました。



修学旅行は、屋久島、種子島方面へ。屋久島苔むす森にて。

## 課題解決活動に力を入れています

### 家庭クラブ活動・ホームプロジェクト

家庭科の授業で学んだ知識や技術を生かして、自分の家庭生活、地域社会に目を向け、課題を解決していく活動です。

### 〈主な家庭クラブ活動〉



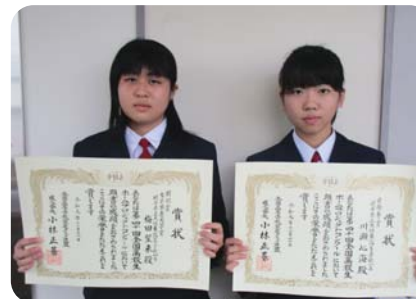
かわなみ作業所交流



南保育園交流

### 〈ホームプロジェクトコンクール〉

全国高校生ホームプロジェクトコンクールに参加しています。〈令和元年度全国高校生ホームプロジェクトコンクール結果〉



特別賞

最優秀賞



教育長訪問



岐阜県教育長表彰式  
教育長表彰



# 青春の時間を大切にメリハリをきかせて、 エンジョイしなくちゃ!!

## 1年間の 主な年間行事

4 April

- ・入学式
- ・ミニ懇談
- ・課題テスト
- ・生徒総会



5 May

- ・球技大会
- ・体力テスト
- ・卒業生と語る会



6 June

- ・前期中間考査
- ・修学旅行（普通科2年）
- ・校外研修（1・3年、理数科2年）



7 July

- ・高大連携講座（理数科1・2年）
- ・保護者懇談



8 Aug.

- ・インターンシップ（職業体験）
- ・課題／実カテスト（1、2年）
- ・実カテスト（3年）



9 Sept.

- ・東高祭（文化祭・体育祭）
- ・前期期末考査



10 Oct.

- ・後期始業式
- ・ミニ懇談
- ・芸術鑑賞会
- ・生徒総会



11 Nov.

- ・トライアル大学模擬講座（2年）
- ・強歩大会



12 Dec.

- ・修学旅行（理数科2年）
- ・後期中間考査（1、2年）／  
学年末考査（3年）
- ・文理コース登録（1年）
- ・保護者懇談



1 Jan.

- ・課題／実カテスト（1、2年）
- ・大学入学共通テスト激励会（3年）



2 Feb.

- ・かるた大会
- ・3年生を送る会

3 March

- ・卒業式
- ・学年末考査（1、2年）
- ・終業式

### 体育系 Sports

## 部活動

過去3年間の  
主な活動実績

<b>剣道</b>  ・県新人大会3位、東海高校選抜大会出場	<b>ハンドボール</b>  ・県選手権大会ベスト4	<b>硬式野球</b>  ・全国高校野球選手権岐阜大会出場	<b>バスケットボール</b>  ・県新人大会第6位
<b>水球</b>  ・全国高校総体4位、ベスト8 国体4位	<b>サッカー</b>  ・県選手権大会ベスト16	<b>バレーボール</b>  ・県高校総体ベスト16	<b>卓球</b>  ・県総体出場
<b>テニス</b>  ・東海中日ジュニア選手権大会出場	<b>ソフトテニス</b>  ・県新人大会ベスト8	<b>バドミントン</b>  ・東海高校選抜大会出場	<b>陸上競技</b>  ・全国高校総体出場

### Culture 文化系

<b>茶道</b>  ・ぎふヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞	<b>美術</b>  ・県青少年美術展青年部最優秀賞	<b>華道</b>  ・Ikenobo花の甲子園全国大会優勝	<b>放送</b>  ・県高校放送コンテスト朗読部門アナウンス部門優勝 ・全国大会出場	<b>演劇</b>  ・県高校演劇大会奨励賞
<b>囲碁将棋</b>  ・ライオンズクラブスピーチコンテスト優勝	<b>英語</b>  ・高校生「朝ごはん」コンテスト最優秀賞	<b>クッキング</b>  ・県青少年美術展青年部最優秀賞	<b>書道</b>  ・県総合文化祭優秀賞	<b>写真</b>  ・県青少年美術展青年部最優秀賞



## 生徒会活動

生徒会執行部を中心に、東高祭など各種行事の計画・運営や地域社会奉仕などに、自主的、積極的に取り組んでいます。

年2回生徒総会を開き、全校生徒と話し合う場を設けているのも本校の特徴です。

